

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こどもプラス小祿教室		
○保護者評価実施期間	令和 8年 3月 1日	～	令和 8年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 1日	～	令和 8年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 3月 1日	～	令和 8年 3月 14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10か所	(回答数) 10か所
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育所等訪問に対応可能な職員を複数配置し、安定した支援体制の確保に努めています。	・訪問する職員を児童一人につき二人配置し、訪問日調整の際に柔軟に対応できるような体制を整えています。	・複数職員による訪問を通して多角的な視点での観察と支援の質向上に努めていきます。
2	・事業所内における役割分担を明確にし、組織全体での情報共有体制を構築しています。	・定期的にリーダー間で事例共有を行い、その内容を各事業所に持ち帰ることで職員間の理解促進を図っています。	・訪問児童の状況や訪問先からの要望を事業所内で共有し、適切な改善策を検討した上で訪問に活かしていきます。
3	・訪問先から得られた情報を共有し、支援内容の改善に活かす体制づくりを行っています。	・訪問先からの情報を会議で検討し、次回訪問に反映するなど継続的な支援改善に取り組んでいます。	・訪問を行う上で新たな課題が発生した際は事業所内で検討を行い、継続的な改善に取り組んでいます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問経験の浅い職員については、学びながら訪問支援を行っている状況があります。	・保育所等訪問の経験を有する職員体制が十分に整っていないことが要因の一つと考えられます。	・複数職員が訪問の経験を積めるよう機会を設け、計画的な人材育成に取り組んでいます。
2	・保育所等訪問に関する研修や学習機会について、さらなる充実が必要だと考えています。	・訪問支援に関する研修機会の確保や計画的な育成体制の構築が必要だと考えています。	・研修や事例の共有等を通して、職員の専門性向上を図り訪問支援の質の向上につなげます。
3	・利用者のニーズに応じた訪問回数の確保に向け、体制面の検討が必要だと考えています。	・訪問対応可能な職員の育成が十分でないことが、訪問回数確保に影響していると考えられます。	・訪問支援に対応できる職員の育成を進め、利用者ニーズに応じた訪問体制の整備に努めていきます。